

한통련 뉴스레터

제54호

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●継続する韓米・韓米日合同軍事演習…依然として軍事緊張高まる朝鮮半島



韓米合同軍事演習に反対する「停戦70年 朝鮮半島平和行動」

韓米・韓米日合同軍事演習を強行

韓米両国は3月13～23日の11日間、大規模な合同軍事演習「フリーダムシールド(自由の盾、FS)」を実施。20日から4月3日までは浦項で、北朝鮮(※正しくは朝鮮、以下同じ)への上陸と内陸部に向けた進撃を想定した「双竜訓練」を行った。

韓米日3カ国は3日から4日にかけて済州島南方の公海上で、米原子力空母が参加する対潜水艦訓練と捜索・救助訓練を実施。訓練には韓国海軍のイージス駆逐艦「栗谷李珥」、駆逐艦「崔瑩」「大祚榮」、軍需支援艦「昭陽」が、米海軍からは原子力空母「ニミッツ」とミサイル駆逐艦「ディケーター」「ウェイン・E・マイヤー」が、日本からは海上自衛隊の護衛艦「うみぎり」がそれぞれ参加した。

韓国国防부는、北朝鮮の潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)など高度化する水中脅威への韓米日の対応能力を引き上げることが訓練の狙いだと説明。韓米日が対潜水艦戦を想定した訓練を実施するのは昨年9月末以来、半年ぶり。3カ国は、今年2月

と昨年10月には朝鮮半島東の東海上でミサイル防衛訓練を行っている。捜索・救助訓練は2008年に始まり16年まで行われた後、中断されていた。国防부는、韓米日の安全保障協力を正常化する意味で7年ぶりに合同訓練を再開したと説明。

核兵器を搭載できる米空軍のB52H戦略爆撃機2機が3月30日、日本の航空自衛隊の戦闘機と共に朝鮮半島東の東海上空に展開した。B52Hは6日、朝鮮半島上空に展開し、韓国空軍のF15KやKF16などの戦闘機と合同訓練を実施した。

朝鮮、合同軍事演習に警告

一方、朝鮮は韓米合同軍事演習に強く反発。朝鮮労働党機関紙・労働新聞は29日、韓米が「ピョンヤン占領」「斬首作戦」を企図しているとして、「仇敵の憎き行動に国中の人民が激怒している」と伝え、「米帝が武力を引き込むほど、わが共和国の戦略戦術的攻勢と力は一層強くなる」と警告した。

朝鮮中央通信は2日に出した論評で、「わが共和国との全面戦争を想定し、13日から11日間という歴代最長の大規模合同軍事演習『フリーダムシールド』を強行した米国と南朝鮮(韓国)の戦争狂気は、連合上陸訓練『双竜』に突入してから絶頂に達している」と指摘し、「必ず代価を支払うことになるということを肝に銘じなければならぬ」と警告した。

戦争反対平和行動

2月に約760団体で発足した「停戦70年 朝鮮半島平和行動」は29日、浦項の訓練現場を含む一帯で、「双竜訓練」に反対する「戦争反対平和行動」を展開し、「危険極まりない攻撃・占領訓練を中止しろ」と声を上げた。

韓米・韓米日合同軍事演習と韓米日軍事同盟化に反対する！

韓米合同軍事演習はフリーダムシールドが終了しても、規模と形態を変えながら継続実施、米原子力空母が参加する韓米日合同海上訓練も行われ、戦略爆撃機も展開するなど、朝鮮半島の軍事緊張は高まりこそすれ、緩和することはない。

こうした中、金正恩（キム・ジョンウン）国務委員長・朝鮮労働党総書記は3月28日に核兵器研究所で、「絶えず核能力を強化するための努力を続けなければならない。いつでも、どこでも核兵器を使用できるよう完璧に準備してこそ永遠に核兵器

を使わないようになるだろう」とした上で、「想像を超える強力かつ優勢な核武力が攻勢的な体制を整えてこそ、敵がわれわれを恐れ、わが国権、制度、人民に手出しできなくなる」と強調した。

朝鮮はこの間、大陸間弾道ミサイル（ICBM）試射、核攻撃を想定した訓練、核水中・核空中爆発実験と核・ミサイル体制の高度化を進めている。

3月16日の韓日首脳会談における強制動員問題の政治決着により韓日関係の「改善」が進展し、韓米日軍事同盟化へ向けた障害は取り除かれたとする米国と韓日の三カ国。4月26日の韓米首脳会談を経て5月19日から始まる広島G7サミットを、ウクライナ支援とともに韓米日三カ国の協力態勢を全世界にアピールする場にしようとして企図している。

朝鮮半島の平和を破壊し戦争の危機を煽る韓米・韓米日合同軍事演習と韓米日軍事同盟化に強く反対しなければならない。

●尹政権の対日屈辱外交…変わらぬ日本政府の姿勢「植民地支配の歴史歪曲、独島の領有権主張」



日本大使館前で記者会見する「韓日歴史正義平和行動」

日本政府が3月28日、日本による植民地時代の朝鮮半島出身者の徴兵関連記述の強制性を薄め、独島の領有権主張を強化した小学校教科書の検定結果（※）を公表したことについて、韓国外交部は「日本政府が数十年間続けてきた無理な主張を踏襲した小学校教科書の検定を合格させたことに深い遺憾の意を表す」とする報道官声明を出した。

声明は「歴史的・地理的・国際法的に明白な韓国固有の領土である独島に対する不

当な主張が盛り込まれた教科書の検定を再び通過させたことに強く抗議し、独島に対する日本のいかなる主張も受け入れられない」と強調。「強制動員関連の表現と記述が強制性を薄める方向で変更されたことに強い遺憾を表明し、日本政府が自ら表明してきた歴史関連の謝罪と反省の精神を真摯（しんし）に実践していくことを促す」と求めた。

昨年8月に600以上の団体で発足した「歴史正義と平和な韓日関係のための共同行動（韓日歴史正義平和行動）」は30日、ソウルの日本大使館前で「日本の歴史歪曲（わいきょく）教科書検定を糾弾する記者会見」を開催し、日本政府は植民地支配の歴史歪曲、独島の領有権主張を中止しろと要求した。

外交部当局者は記者団に対し今回の件に関連して「わが政府が（強制動員被害者問題に対する）解決策を主導的に打ち出した

のは韓日関係をより未来志向へと発展させるため」とした上で、「独島、教科書、慰安婦問題など韓日の主要事案別の政府の立場には一切変化がない」と強調したという。しかし、教科書検定における日本政府の歴史否定・歪曲は、韓日首脳会談を経てもなんら変わらぬ（悪化したともいえる）日本政府の対韓姿勢を示すとともに、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の対日屈辱外交がもたらした必然的な結果だといえる。
※「多数の朝鮮人と中国人が強制的に連れてこられた」（2019年 東京書籍）→「多数の朝鮮人と中国人が強制的に動員さ

れた」（2023年）

「朝鮮人男性は日本軍兵士として徴兵された」（2019年 東京書籍）→「朝鮮人男性は日本軍兵士として加わるようになり、のちに徴兵制がとられるようになった」（2023年）

「日本軍兵士として徴兵され戦場に送られた」（2019年 教育出版）→「日本軍兵士として戦場に送られた」（2023年）

「韓国が占拠」（2019年 東京書籍）→「韓国が不法に占拠」（2023年）

●全州乙の再選挙、進歩党候補が当選！…進歩党、念願の院内進出を実現



選挙戦勝利を喜ぶカン・ソンヒ当選者（前列右から二人目）

全羅北道・全州乙の国会議員再選挙の投票が4月5日、行われた。進歩党のカン・ソンヒ候補が39.07%、17382票を獲得、無所属（前「共に民主党」）イム・ジョンヨプ候補（32.1%）を制し当選。進歩党は念願の院内進出を果たした。

カン当選者は「尹錫悦（ユン・ソンニョル）検察独裁を審判し新しい政治に向けた全州市民の希望と熱望が、進歩党のカン・ソンヒに集まった」とし、「政治改革一番地、全州市民の偉大な選択が全州をこえて国全体へと広がると信じている」と述べた上で、「特に選挙過程でまさにこの地、湖南全州でアカ攻撃があった。あつてはならないことだ。全州市民がこのアカ攻撃も審判してくれたものと確信する」と強調した。

カン当選者は2003年から現代自動車全州工場では非正規職労組を率いて正規職化を成し遂げ、以後、全国宅配労組全北支部の事務局長として活動した労働運動出身の新人政治家で、進歩党（銀行）貸出金利引き下げ運動本部長、全羅北道党民生特別委員長。

カン当選者は選挙初盤、一桁の低支持率にとどまっていたが、進歩党は党の力量を集中し、無名に近かった新人候補の支持率を30%近くまで急上昇させ、選挙構図を変えた。結局、接戦かと思われたイム候補に余裕の票差をつけ勝利した。カン当選者が「全州市民の偉大な選択」と強調した理由だ。

進歩党のユン・ヒスク代表は「今回の勝利は党員の献身、カン当選者の誠意、それを認めてくれた全州市民の民意が作り出した勝利」とし、「鮮明野党・代案政党として、新しい政治勢力として全州市民の熱望に必ず応える」と語った。

注目と期待が集まった全州乙の再選挙。進歩党は2024年総選挙を念頭にカン候補を当選させることを目標として掲げ、全国の党員が現地に結集し全力を集中。カン当選者は全北銀行の貸出金利引き下げ運動を主導し、地域に密着、浸透しながら住民から支持と好感を得た。先の地方選挙で21人の当選者を出す成果をあげた進歩党。ユン代表は選挙前に「進歩政治はよくやっ

ているとの評価が高まれば、当選の可能性は高い」と展望していた。進歩党は9月に政策党大会を開催し総選挙勝利を決意する計画。

また、カン当選者と蔚山で教育監（教育委員会委員長）に当選したチョン・チャンス氏（全教組組合員）は民主労総の支持候補でもある。民主労総は24日に臨時代議員

大会を開催し、「労働中心の進歩大連合政党」建設方針を決定する予定。進歩党は民主労総の同方針を支持している。

進歩政治における小さくも大きな一步を踏み出した進歩党の前進と活躍に期待するとともに、進歩政党建設における大連合の実現を強く望みたい。団結が勝利を生み出すことを総選挙で明らかにしよう。

●【記事紹介】「被疑事実を無差別に流布、世論裁判で有罪のらく印」…団体・議員、国会で公安弾圧中止要求の記者会見



記者会見で発言するユン・ミヒャン議員（中央）

国家保安法廃止国民行動など関連団体とユン・ミヒャン国会議員（無所属）をはじめとする議員らは4月4日、国会で「国家保安法廃止！ 被疑事実流布中止！ 国情院対共捜査権完全移管要求！ 公安弾圧即刻中止！ 記者会見」を開催し、公安弾圧の中止と拘束者の釈放などを求めた。記者会見文を統一ニュース（4月4日付け）から紹介する。

原文 <http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=207677>

記者会見文

公安弾圧を即刻中止しろ！

国情院を筆頭にした公安機関のスパイねつ造、被疑事実と虚偽情報の流布、公安弾圧が継続している。これみよがしの家宅捜索、違法で無理な陳述強要行為が続いている。国民の知る権利を云々しながら、国情院が公式に被疑事実を記者らに流布し、守旧保守メディアはこれを積極的に小説へと

置き換えることに余念がない。被疑事実の公表と虚偽情報の流布が違法行為であることを知りながらも、堂々と犯罪行為をほしのままにしている。

政府与党はこの機会を逃さず、国情院の対共捜査権を維持しようと声を高めている。公安弾圧で権力を維持しなければならない政権と与党、自らの唯一の生存理由である公安弾圧とスパイねつ造を続けようとする国情院、そしてここに寄生し存在を發揮しようとする守旧保守メディアの必要性、これらがすべて一致したものだ。

就任一年にもならないのに審判と退陣のスローガンによる集会が続き、支持率が30%まで暴落した政権が選択した生存戦略は、国家保安法を基盤とした現在の公安弾圧だ。政権の反対者と政府に対する健全な批判をスパイねつ造と公安弾圧で封じながら維持してきた権力の最後がどうなったのかは、すべての国民が歴史を通じて知っている。政府と公安機関は公安弾圧を即刻中止し、屈辱外交、民生破たんとあわせて政府に対するおびただしい批判の声に対案を提示すべきだ。

国家保安法と公安機関の存在がこうした悪行を可能にする根本的な原因である。分断以後、数えきれないほど多くの国家暴力による被害者を生み出し、違法で無理な捜査、スパイねつ造を可能にした国家保安法をいま廃止しなければならない。そして、これを直接実行する土台となっていた国情

院の対共捜査権を完全に移管しなければならない。

△いまずぐ公安弾圧を中止し国家保安法による無念の被害者を釈放しろ！

△国情院は対共捜査権の移管を履行しろ！

△国家保安法を廃止しろ！

2023年4月4日

国会議員 カン・ミンジョン、カン・ウン

ミ、キム・ホンゴル、ミン・ヒョンベ、ペ・ジンギョ、シン・ジョンフン、ヤン・ジョンスク、ユ・ジョンジュ、ユン・ミヒャン、ユン・ヨンドク、イ・ドンジュ、イ・スジン、イ・ヨンビン、イ・ジャンソプ、イ・ハギョン、チョ・オソプ、チェ・ガンウク、チェ・ヘヨン、ホン・イッピョ
国家保安法廃止国民行動
政権危機局面転換用公安弾圧阻止、国家保安法廃止対策委員会

활동보고 活動報告

● G7広島サミットに反対の声…実行委員会結成集会で宋世一委員長がアピール



報告する岡原美知子事務局長

5月19日から21日に広島で開催されるG7サミットに対して反対の声が上がっている。

「G7いらない！ 首都圏ネットワーク」は3月25日、「G7いらない！ 広島は訴える！ 3.25集会」を都内で開催した。集会では広島から3名のゲストを招請し報告。日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワークの岡原美知子事務局長は広島軍都としての歴史を解説。「戦争を再び起こさせないためにも歴史問題を解決しなければならない」と訴えた。ピースリンク広島・呉・岩国の世話人である新田秀樹氏は、岩国基地の軍備が増強されている現状を解説。「岩国が米国の一大軍事拠点となることはなんとしても阻止しなければならない」と強調した。

8・6ヒロシマ平和への集いの久野成章氏は広島がサミットに向けて厳戒態勢を整

えつつあることを報告し、「サミットを契機にNATOが世界化されようとしている」と指摘。徹底的な反対闘争を呼びかけた。



報告する湯浅一郎代表

4月2日には、「戦争・治安・改憲NO！ 総行動実行委員会」が呼びかけ、都内で「G7広島サミットに反対する！東京実行委員会4.2結成集会」を開催した。

集会では「G7サミットいらない！ 首都圏ネットワーク」の小倉利丸氏とピースデポの湯浅一郎代表が報告。小倉氏は「情報資本主義とG7」と題し、拡大するサイバー戦争について報告。ウクライナ戦争などを口実に、政府が国民の情報を管理・統制しようとしている現状を批判。政府、マスメディアに対抗する市民からの情報発信、国際的な連帯の重要性を訴えた。

湯浅代表はG7サミットの背景として、



連帯あいさつする宋世一委員長

朝鮮半島の分断と中国の海洋進出による米中対立という、北東アジアにおける「2つの対立構図」を指摘。「米国や日本は、軍事力によって安全を担保するという論理を掲げており、このままでは軍事費はさらに拡大し、戦争危機が高まり続ける。G7サミットでこのような悪循環がより深刻となっていくだろう。軍事力によらない安全保障体制の構築を目指した行動を展開しよ

う」と語った。日韓民衆連帯から尾澤孝司氏が朝鮮半島情勢を中心に報告した。

宋世一（ソン・セイル）委員長が連帯あいさつ。宋委員長は「この間、韓米日三ヶ国が軍事協力を進めており、今回のG7サミットに尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領を呼び寄せて、全世界に韓米日の結束をアピールするつもりだ。G7広島サミットは韓米日軍事同盟化へとすすむ大きなターニングポイントとなる。東京と広島と連動しながら、抗議の声を高めていこう」と訴えた。

主催者から今後の行動提起として、5月13日に広島で開催される「G7広島サミットを問う市民の集い」、5月18日に東京で開催される「G7広島サミット反対！ 5・18新宿デモ」、5月21日の新宿リレートークが提起され、積極的な参加を呼びかけた。

●「日韓和解と平和プラットフォーム」がオンラインセミナーを開催…「徴用工(強制動員被害者)」問題について意見交換



報告する金英丸対外協力室長

「日韓和解と平和プラットフォーム」は3月29日、オンラインセミナー「徴用工問題を問う」を開催した。

「強制動員問題解決と過去精算のための共同行動」の矢野秀喜氏と民族問題研究所の金英丸（キム・ヨンファン）対外協力室長が「徴用工（強制動員被害者）」問題について報告。

矢野氏は3月6日に韓国政府が発表した「解決策」に関して、「日本政府も企業もこの間被害者に対して一言も謝罪しておらず、事実認定もしていない。肝心の存命被害者原告は全員拒否しており、とうてい解決とはいえない」と批判。「今回の『解決策』で大法院（最高裁）判決が消滅したわけではない」としながら、今後の課題として①加害の事実を認め②被害者に真摯（し

んし）に謝罪し③その償いとして金銭を支払い④同じことを繰り返さぬための措置を講じることを提示した。

金室長は「2018年の大法院判決は『韓日条約で解決済み』の論理を克服する画期的な判決だったが、今回の『解決策』はその成果を台無しにするものであり、政府が司法の判決に介入した三権分立の原則を否定する暴挙だ」と批判。「これまで幾度となく国家安保のためという名目で被害者の権利が犠牲になってきた。このようなことを繰り返してはならない」としながら、①歴史問題を普遍的な人権の問題として扱う②大法院に対して早急な現金化決定を要求する③外交惨事を引き起こした関係者の責任を問う④強制動員被害者を救済するための特別法を制定する⑤韓日関係の懸案解決のための韓日市民連帯の強化を課題として提示。「韓米日軍事同盟が強化されつつある。韓国と日本が共同体をつくっていくためには、必ず戦争の歴史に向き合わなければならない、そうしてこそ東アジアの平和と朝鮮半島の統一を展望することができる。日本市民、在日同胞とともにこれからも頑張っていきたい」と語った。

행사예정 行事予定

4月

第4回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 4月8日(土) 午後5時30分 場所: 新宿駅西口地下イベント広場 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

韓統連セミナー2023(大阪)

日時: 4月16日(日) 午後1時30分受付 2時開始 場所: KCC会館
内容: 第1回「尹政権の対日政策と私たちの課題」～戦後補償問題のゆくえ～ (講師: 金昌範(キム・チャンボム) 韓統連大阪本部副代表委員) 主催: 韓統連大阪本部 参加費: 800円(青年学生500円) 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

情勢学習会(神奈川)

日時: 4月23日(日) 午後1時45分開場 2時開始 場所: ミューザ川崎 シンフォニーホール 内容: 情勢講演(講師: 李俊一(イ・チュニル) 総務部長 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (ムン)

第26回統一マダン神戸プレイベント<地域講演会>

日時: 4月23日(日) 午後2時開場 2時30分開始 場所: 兵庫区文化センター講習室
内容: 朝鮮戦争「休戦協定」締結70年 高まる戦争の危機 私たちの手で平和の礎を! (講師: 宋世一(ソン・セイル) 委員長) 主催: 統一マダン神戸実行委員会 連絡先: 090-5016-6352 (チェ)

熊野の朝鮮人追悼集会(三重)

日時: 4月29日(土)～30(日) 場所: 木本トンネル熊野側入り口 内容: 李基允(イ・ギユン)さんと裴相度(ペ・サンド)さんの追悼集会など 主催: 改組三会(三重県木本で虐殺された朝鮮人労働者(李基允・裴相度)を追悼する会、紀州鉾山の真実を明らかにする会、海南島近現代史研究会) 連絡先: 090-9712-3991 (斎藤日出治)

5月

第26回統一マダン神戸

日時: 5月14日(日) 午前11時～午後3時 場所: キャナルタウン広場(JR兵庫駅南側) 内容: ステージ(朝鮮の歌や踊り、テコンドー演舞、和太鼓、エイサー、獅子舞など)、屋台(韓国朝鮮料理など各国の料理、物販など) 主催: 統一マダン神戸実行委員会 連絡先: 090-5016-6352 (チェ)

編集後記 再補欠選挙での進歩党の勝利は、久しぶりに嬉しいニュースでした。地域に密着した進歩党の活動が大きな勝因なのはもちろんですが、尹政権の悪政に対する国民の審判という側面もあったと思います。継続して頑張っていきましょう (李)